

事業活動温暖化対策計画書 兼 実施状況等報告書

1 事業者等の概要

氏名又は名称	信越明星株式会社					
代表者名	氏名	大谷昌史	役職名	代表取締役社長		
主たる事務所の所在地	長野県上田市秋和942					
主たる事業の分類	大分類	E 製造業				
	中分類	09 食料品製造業				
主たる事業の概要	めん類製造業					
制度に該当する要件	<input checked="" type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第1号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第1号及び条例施行規則第4条第2項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	条例第12条第1項第2号に該当する事業者				
	<input type="checkbox"/>	上記以外（任意提出）の事業者				
		基準年度実績	最終年度の目標	第一年度報告	第二年度報告	第三年度報告
原油換算エネルギー使用量	kl	2,487	2,412	2,909	3,597	
エネルギー起源二酸化炭素排出量	t-CO ₂	4,645	4,505	5,416	6,693	
その他ガス排出量合計	t-CO ₂	0		0	0	
自動車の台数	台	7		9	9	
自動車からの排気ガス合計	t-CO ₂	25				

2 基準年度、計画期間及び報告対象年度

基準年度	2019	年度
------	------	----

計画期間	2020 年度～ 2022 年度
------	------------------

報告対象年度	2021	年度
--------	------	----

3 計画書（報告書）の公表方法等

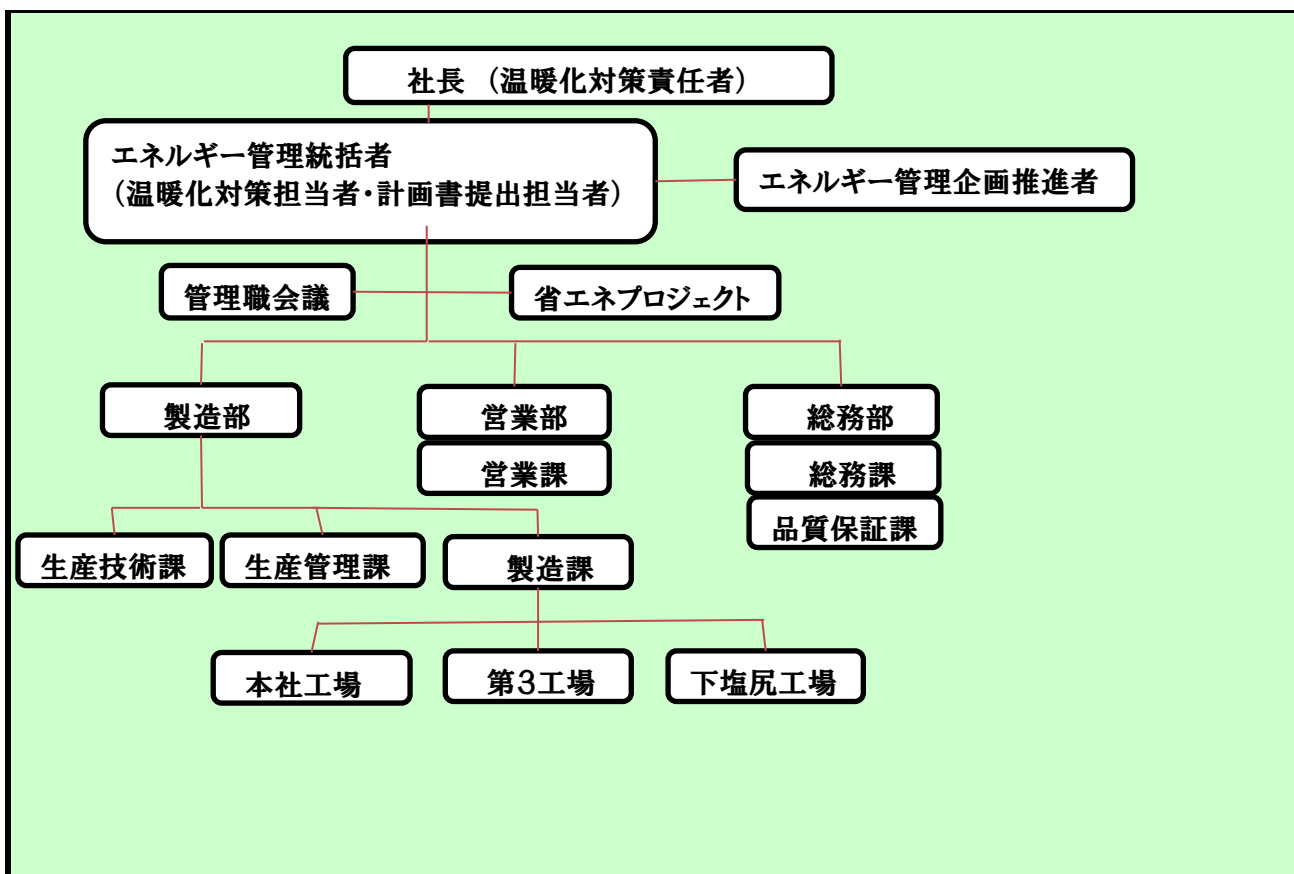
<input type="checkbox"/>	ホームページ	信越明星株式会社 秋和工場事務所 閲覧時間8:00～17:00 総務課 0268-22-5252
<input checked="" type="checkbox"/>	印刷物の閲覧	
<input type="checkbox"/>	その他	

様式1号
(総括票)

4 温室効果ガス排出抑制のための基本方針

エコアクション21に基づく環境目標を定め進捗管理を行う。

5の1 温室効果ガス排出抑制のための組織体制



5の2 温室効果ガス排出抑制のための会議体等の名称及び開催頻度

省エネプロジェクト会議 3回/年

様式1号
(総括票)

6の1 エネルギー起源二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	4,645	t-CO ₂	生産数量	162.80	単位	百 t
2019年度	調整後排出量	4,645	t-CO ₂	基準原単位	28.53	t-CO ₂ /	百 t
目標年度	目標排出量	4,505	t-CO ₂	目標原単位	27.67	t-CO ₂ /	百 t
2022年度	目標削減率	3.01	%	目標削減率	3.00	%	
目標設定に関する説明	2021年9月第3工場増設しを冷凍ライン2ライン増加予定の為、削減目標3%とする。						
第一年度	排出量	5,416	t-CO ₂	生産数量	164.00	単位	百 t
	削減率	-16.60	%	原単位	33.02	t-CO ₂ /	百 t
2020年度	調整後排出量	5,416	t-CO ₂	原単位削減率	-15.74	%	
	削減率	-16.60	%				
排出量等の増減理由	需要増加によりエネルギー消費の高い冷凍麺の稼働が非常に高くなった為。また下塩尻第2工場の増設した冷凍ラインが稼働した為。						
第二年度	排出量	6,693	t-CO ₂	生産数量	189.76	単位	百 t
	削減率	-44.10	%	原単位	35.27	t-CO ₂ /	百 t
2021年度	調整後排出量	6,693	t-CO ₂	原単位削減率	-23.63	%	
	削減率	-44.10	%				
排出量等の増減理由	本社に第3工場を増築し冷凍ライン2ライン増設。これによるイニシャルエネルギーが増加。また冷凍麺の生産増加による稼働時間の延長等の要因が排出量の増加に繋がったと思われます。						
第三年度	排出量		t-CO ₂	生産数量		単位	
	削減率		t-CO ₂	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の2 エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	0	t-CO ₂			単位	
2019年度	調整後排出量		t-CO ₂	基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量	0	t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
	削減率		%	原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	調整後排出量		t-CO ₂	原単位削減率		%	
	削減率		%				
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

様式1号
(総括票)

6の3 自動車の使用に伴う二酸化炭素の排出抑制に係る目標及び実績

基準年度	基準排出量	25	t-CO ₂			単位	
2019年度				基準原単位		t-CO ₂ /	
目標年度	目標排出量		t-CO ₂	目標原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	目標削減率		%	目標削減率		%	
目標設定に関する説明							
第一年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2020年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第二年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2021年度	削減率		%	原単位削減率		%	
排出量等の増減理由							
第三年度	排出量		t-CO ₂			単位	
				原単位		t-CO ₂ /	
2022年度	削減率		%	原単位削減率		%	
目標の達成状況及び排出量の増減理由							

7 重点対策の実施状況

段階	番号	対策名称	基準年度	実施予定	第一年度	第二年度	第三年度	備考
I～II	I-1	燃料使用量等の定期的な把握						
	I-2	エコドライブの励行						
III	III-1	次世代自動車の導入計画						
IV	IV-1	次世代自動車の導入						

様式1号
(総括票)

8 排出抑制目標達成のための具体的な措置

番号	区分	区分 番号	対策内容	計画		状況	
				実施予定 年度	削減見込量 (t-CO ₂)	実施 年度	推計削減量 (t-CO ₂)
1	エネ起	320208	蒸気供給の管理	2020～ 2021	2		
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							

9 自然エネルギー源利用設備等の導入計画及び状況

機器の種類	単位	基準年度	導入計画	第一年度	第二年度	第三年度
太陽光	k W	320	0	320	320	

様式1号
(総括票)

10 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素の排出実績 (所、t-CO₂)

工場等の規模 (原油換算エネルギー使用量)	基準年度		第一年度		第二年度		第三年度	
	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量	工場等数	排出量
3,000k1以上								
1,500k1以上 3,000k1未満			1	2,909	1	3,134		
1,500k1未満	2	4,645	1	2,507	2	3,559		
合計	2	4,645	2	5,416	3	6,693		

11 県内の工場等におけるエネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガスの排出実績 (t-CO₂)

ガスの種類	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
非エネルギー起源 CO ₂	0	0	0	
CH ₄	0	0	0	
N ₂ O	0	0	0	
HFC	0	0	0	
PFC	0	0	0	
SF ₆	0	0	0	
NF ₃	0	0	0	
合計	0	0	0	0

12 次世代車使用台数等の導入状況 (台)

自動車種別	基準年度	第一年度	第二年度	第三年度
プラグイン・ハイブリッド自動車		0	0	
電気自動車		0	0	
燃料電池自動車		0	0	
クリーンディーゼル自動車		0	0	
その他 (ハイブリッド等)	7	7	7	
合計	7	7	7	0
自動車総数	7	9	9	
次世代車導入割合	100	77.8	77.8	

様式1号
(総括票)

1.3 交通対策状況

区分	実施内容
公共交通機関の利用促進	
自転車の利用促進	
来客者の交通対策	
物流の合理化	手配した車両の積載可能容積を算出し最大積載数で出庫すること。また同一方面へ混載をし、最大積載量に近づけることにより手配車両数の低減に努めている。

1.4 環境配慮活動状況

環境配慮活動	活動内容の詳細		
	実施内容		実施年度
<input checked="" type="checkbox"/> SDGs	長野県SDGs登録制度へ登録している		令和3年
<input checked="" type="checkbox"/> 環境マネジメントシステム	環境マネジメントシステムを導入している		平成22年
	名称	エコアクション21	
<input type="checkbox"/> TCFD提言	気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) 支持を表明している		
<input type="checkbox"/> グリーンボンド	グリーンボンドを発行している		
<input type="checkbox"/> ESG投資	ESG対話プラットフォームに登録している		
<input type="checkbox"/> SBT	SBT を策定済、またはコミットしている		
<input type="checkbox"/> RE100	<input type="checkbox"/>	RE100にコミットしている	
	<input type="checkbox"/>	再エネ100宣言RE Action へ参加している	
<input type="checkbox"/> その他			

1.5 自由記載欄

2021年10月より秋和第3工場が稼働致しました。
生産設備においては高効率小型貫流ボイラー2基、自然冷媒フリーザー2基、場内LED照明等、積極的に省エネ機器を導入致しました。